

特別賞

生き物を大切に

赤坂小学校 桜井 智子

「生き物を大切に」とは何か。そもそも、「生き物」は何なのか。この疑問はきつと、地球が、人間がこれからも悩み続ける事です。

そこで、「生き物」とは何か、という事を説明していきたいと思います。みなさんは、「生き物」をどうとらえますか。心臓が正常に動いていれば、「生き物」ですか。私は少し前まではそう思っていました。ところが、母にすすめられてある一冊の本を読みました。手塚治虫が書いた「ブツダ」という本です。その本の中でブツダはこう言いました。

「生き物はみな生きていて、いつかは死ぬ。」

みな平等に、そして懸命に自分らしく生きています。そこで聞きたい。ここに、二頭のゾウがいる。一頭はまるでごみ箱から出てきたように、黒ずんでいる。もう一頭はきれいで、まるで天使のようなゾウだ。さて、あなたならどちらを選ぶか。」

と。質問された人は、だまり返ってしまった。するとブツダはこう言った。

「あなたなら、きれいで天使のようなゾウだろう。しかし、それは違う。どんなゾウでも尊い命がある。そのことを忘れてはいけない。」

と。人々は涙を流し、ブツダをおがんだ。私は読み終わった後、納得しました。ただ、心臓が動いているだけの物ではなく、懸命に生きて、それぞれの輝きを放って、自分らしく「生きる」これが、「生き物」です。いわゆる「生命」です。

次に「生き物を大切にすること」を説明します。前者で述べた通り、生き物は、生命です。つまり、「生命を大切にすること」ということです。人や動物は、様々な関わりを持っています。人々は、昔から動物を狩って生きてきました。また、「食う。食われる」の環境で生きる者もいます。話は変わりますが、みなさん「生命尊重」という言葉を知っていますか。文字の通り、「生命」を「尊重」するのです。「尊重」の意味を調べると、「とうといものとして重んずること」と載っています。これこそが「生き物を大切に」という意味なのではないのでしょうか。

まとめると、懸命に生きて、すばらしい輝きを放ち、自分らしく「生きる」者を、とうといものとして重んずる、このことこそが生き物を大切にすることです。だからよく「小さなハエでも大切な命だよ。」と聞きます。私は、ところどころあえて「物」ではなく「者」と書いています。私にとつての「生き物」は「生き物」ではなく、「生き者」です。みなさんも「生き者」について考えてみては、どうでしょうか。先ほど紹介したハエのことですが、みなさんはこう思いませんか。生き物はみなつながっているから、目の前にいる小さなハエを救うことで生き物は救われる。地球が救われる。だから、生命を尊ぶのだと。